

すまくちいきじりつしえんきょうぎかいつうしん 須磨区地域自立支援協議会通信

No. 1

発行元：すま障害者地域生活支援センター

連絡先：〒654-0154

神戸市須磨区中落合二丁目 2-8

ワコーレ須磨名谷ステーションマークス 1階

☎ 078-795-1453

FAX 078-795-1454

編集者：特定非営利活動法人ほっとぽっと 蔵元志穂

目次

1 ページ・・・協議会運営委員長・須磨区健康福祉課長 辛川課長のごあいさつ

2, 3 ページ・・・各部会活動内容報告

4 ページ・・・各部会活動内容報告 続き

しいちゃんのおじゃましまんにやわ～☆

編集後記



辛川課長のごあいさつ

2月17日

もうすぐ春ですね。今年の冬は近年にない寒さでしたが、皆様方にはお元気でお過ごしですか。当協議会は暗中模索しながらも、6つのプロジェクトで活発に、片や地道に、ただど着実に目指す方向に進んでいます。みなさんのご努力により、講習会やバザー、離宮公園での清掃、水族園での交流、社会で自立するための勉強会、親同士の連携、フライングディスク大会にさくら祭りと一歩ずつ歩を進めてきました。先日も地域の高齢者と施設の交流会に参加してきましたが、楽器を演奏しているメンバーと参加していた高齢者の笑顔がとてもすてきでした。

我々の活動は、それぞれ1人1人の個性を引き出し、社会参加や社会貢献の場をつくりだしたい思いからですが、それよりももっと本質的にはみんなを笑顔にしたいというものではないでしょうか。もうすぐ4月、新たな年度を迎えます。みんなが知恵を絞り、協力し合って充実した活動が続けられる地域自立支援協議会にしていきたいものです。

協議会運営委員長・須磨区健康福祉課長 辛川亭

市民救命士講習会

11月9日

神戸市防災安全公社に依頼し、須磨区民センターにて市民救命士の講習会を行いました。参加者(15名)が3グループに分かれ、AEDを用いた心肺蘇生法や異物除去に関して、体験しながら、応急手当の手順を学習しました。参加された皆さんからは、基本的な事がじっくりと学ぶ事が出来たと好評でした。



地域生活支援部会 まなぼー!!



合同バザー すまいんど

11月13日



第2回「合同バザー すまいんど」が、名谷パティオの買物広場で行なわれました。参加事業所(14カ所)全員が協力し、当日の設営等はもちろん、自主製品の詰合せセット販売に向けて準備しました。又、ブースのネームプレートにも趣向を凝らし、統一感のある店舗作りにも心がけました。ステージには地域の幼稚園児や高校生が出演協力してくださり、はばタンも一緒にあって会場全体を盛り上げてくれました。又、「すまいんどプロジェクト」に参加している事業所の活動内容及び商品紹介のパンフレットも新たに作成しました。

就労支援部会 すまいんど

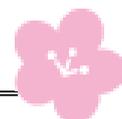
第2回 離宮公園合同清掃会

12月10日

総勢50名で離宮公園本園内の清掃を行いました。当日は天候に恵まれ、清掃を行っているといと汗ばむほどの清掃日和で、落ち葉を大量にかき集めました。清掃後は、区内のボランティアの皆さんに作って頂いた豚汁を味わいながら、参加事業所の皆さんはもとより、公園に来られている方々とも交流も行ないました。豚汁は大好評で、皆さんおかわりされていました。



就労支援部会 就労支援



須磨海浜水族園 ピアサロン

12月15日



須磨海浜水族園さんのご協力で、園を貸し切り、障がい者や支援者、地域の福祉相談員。(総勢90名)が、大水槽前のエントランスで交流会を行いました。前半は水族園スタッフのウミガメを中心とした講話を聴きながら、子ウミガ

メに触れ、大変貴重な体験ができました。後半は6グループに分かれ、水族園のイメージキャラクターを貼り絵で作製し、それぞれユニークな海の生き物が出来上がりました。完成品は水族園2階の展示板に掲示して頂く事もでき、参加された皆さんは生き物を通して、楽しい時間を共有する事が出来ました。

地域生活支援部会 ピアサロン

地域移行支援を通じて考え、感じたこと

～「施設」から「地域」への生活って、どういうことだろう～

1月29日

今回は入所施設からの地域移行をテーマに、神戸愛生園より事例提供して頂き、地域移行支援における課題や、基本的な考え方等に関して検討しました。当日は当事者や家族の皆様はもとより、NPO法人、施設職員、支援センター職員等、総勢18名の参加となり、それぞれの立場より意見が活発に上がりました。今後、地域移行支援に関しては、引き続き継続して検討して行く機会を設けていきと思っております。



地域生活支援部会 まなぼー!!

☆ しいちゃんのおじゃましまんにゃわ～ ☆

フレッシュパワーみなぎる愛生園の小野さん

今回は、愛生園の職員小野さんにインタビューに行ってきました。

しい この仕事に就こうと思ったきっかけを教えてください。

小野さん 小学生くらいのときにヘレンケラーの本を読んでサリバ先生を子供ながらにすごいと思いました。そこから福祉に興味を持ち大学で福祉の勉強をして、実習のときに来ていた愛生園に来ました。

しい 働いていて学生のとくと今の違いを感じることはありますか？

小野さん 違いは、あまりありませんが、学生のとくは頼まれたことは何でもしていたけど職員になってからは何でもするのではなく、本人さんが出来るようにサポートすることを意識しながら仕事をするようにしています。

しい 今後の目標や願いなどお聞かせ下さい。

小野さん 特に大きな夢はないのですが、今の状態を継続しながら成長していけたらと思っています。

小野さんは、自分の思いをしっかりと持った方だなという印象を受けました。とても、気さくで元気な方でお話もしやすく、学ばせていただくことがたくさんありました。これからもフレッシュなパワーで活躍していただきたいです。



編集後記

日に日に春めいた季節になってきましたね。皆様お元気ですか。春は別れの季節ですが出会いの季節でもあります。今年の春もいい出会いがたくさんあることを願って充実した毎日を過ごしたいですね。